

# ～外来リハ通信～

2011.04

第3回リハビリテーション技術講習会を  
4月2日（土）13：30～16：30に開催しました。

今回のテーマは・・・

「呼吸リハビリテーションの理論と技術 ～排痰法と身体所見～」

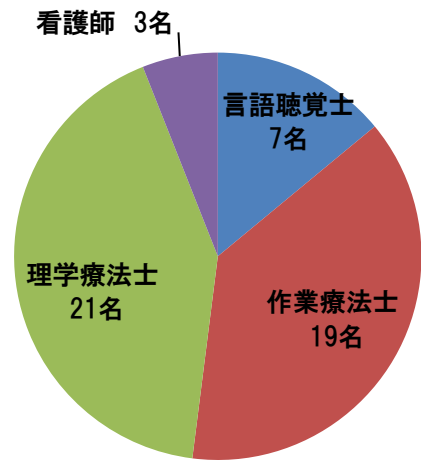


講師は、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
リハビリテーション科学講座教授の千住秀明  
先生でした。千住先生は、呼吸リハの先駆者  
ともいえる大変有名な先生で、講師にひかれ  
て参加したという声もたくさん聞かれました。

今回は、実技講習もあったため、リハビリ  
テーション医療に深く関わっているコ  
メディカルの方々（作業療法士・理学療  
法士・言語聴覚士・看護師）を対象に定  
員50名の限定講習でした。

経験年数1年目の若い方から30年目のベテ  
ランの方まで、幅広い層の方々の参加が  
ありました。

## 職種



前半の講演は、内容の濃さもさることながら、ユーモアを交えたテンポのよい講演で、あっという間の90分でした。

## 呼吸リハビリテーションの定義

呼吸リハビリテーションとは、呼吸器の病気によって生じた障害を持つ患者に対して、可能な限り機能を回復、あるいは維持させ、これにより、患者自身が自立できるように継続的に支援していくための医療である

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会ステートメント, 2001

## わが国における呼吸ケアで取りくむ方向

1. 慢性、急性の呼吸器疾患を持つ全ての患者およびその家族を対象とする
2. 呼吸器疾患に苦しむ患者を障害者と位置づけ、可能な範囲での機能回復ができるように治療を継続する
3. 患者が自立できるように社会全体が継続的に支援していくような医療体制の確立を目指す

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会ステートメント, 2001

自力での呼吸が困難になると、長い経過の中で、動くと息切れがする辛さから活動性の低下が生じ、さらには、食欲が低下し、栄養不良に陥る可能性があります。これにより身体の機能はさらに低下し、呼吸困難が増悪してしまうという悪循環が生まれます。この悪循環を断ち、可能な限り自立した生活を送れるよう支援していくのが「呼吸リハビリテーション」です。

呼吸リハビリテーションは、慢性呼吸器疾患による換気障害を抱える方々に対し、運動能力改善、息苦しさの改善、不安感や抑うつ改善、QOLの改善に効果があることが知られています。

後半の実技講習では、病院や施設の中だけではなく、訪問リハビリテーションなどでも用いることのできる、打診、聴診、呼吸介助法や排痰法といった手技をとっても分かりやすく教えていただきました。



身体所見を正確にとらえる技術と知識を身につけ、常に研鑽しつづけることの重要性を学ばせていただきました。

← 一組ずつマンツーマンで熱心に指導していただきました。

終了後の質問コーナーでは、実際に臨床で困っている参加者の質問にも丁寧に答えていただき、大変有意義な講習会となりました。

参加してくださった皆様の声は[アンケート結果](#)をご覧ください！